

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671500082
法人名	有限会社 さくら商事
事業所名	グループホーム 吉田さくらの里
所在地	鹿児島県鹿児島市東佐多町2260番地1 (電話) 099-295-2422
自己評価作成日	令和7年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年12月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・天気の良い日は中庭でお茶、食事、外気浴、散歩、レクリエーションなどご利用者スタッフで和気あいあいと穏やかな時間を過ごしております。プランターなどに野菜を作り、収穫、調理、食事と共同生活を楽しんでいただけるよう支援しております。
- ・青空面会など感染予防対策を行いながら面会をして頂いております。
- ・感染予防対策を十分にとりながら楽しめるレクリエーションを工夫し行っております。また講師による音楽療法の開催、地域の行事、清掃活動も行っております。
- ・ホームの理念として「この家で、共にくつろぎ、共にやすらぎ、地域とふれあいのある暮らし」を目指し、地域の方々の協力を頂き地域の中で安心してその人らしく暮らすことができるよう支援しております。また、ご利用者やご家族が望む「人生の最期」を可能な限り慣れ親しんだ環境で安心して過ごせるようご家族や主治医・看護職・介護職で連携をとりながらサポートさせて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は地域行事や清掃活動に参加したり事業所行事への地域住民の参加等、地域との交流に積極的に取り組んでいる。事業所の避難訓練への住民参加等でも地域との交流が日常的に行われている。
- ・事業所では家族と利用者の良好な関係継続のため、居室面会や外出・事業所行事への家族の参加等での交流を支援し、ホーム便りや近況報告の送付も行っている。年2回の家族会では家族のみの時間を設定し家族間の交流や家族の要望把握にも努めている。
- ・管理者及び職員は、外出支援に積極的に取り組むと共に音楽療法やボランティア受け入れ等による外部との交流にも努めている。
- ・当事業所の運営法人には有料老人ホーム及びデイサービスがあり、家族等の要望や利用者の状況に応じて法人内の他事業所の選択も可能であり、当事業所では家族の意向に沿って看取り介護にも取り組んでいる。法人内ではイベントや委員会・家族会等の合同開催も多く職員間の協力体制が築かれている。
- ・法人では資格取得の助成もあり、管理者は職員の資格取得や研修受講を勧めて質の向上を図るとともに、個々の事情を配慮した勤務体制など、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフ全員がホームの理念を共有し理解しており理念に沿ったサービスを提供している。	ホールに掲示している理念を毎月の合同会議時に唱和し、職員全員で共有している。部署会議でケアの振り返りを行い、理念に沿った実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の奉仕作業や行事などに職員、入居者様も一緒に参加し交流を深めている。	地域の文化祭や清掃活動・夏祭り等及び、事業所の敬老会・夕涼み会に住民と一緒に参加し、踊り等のボランティアを受け入れている。住民からの野菜の差入れにチマキ・もちのお返しをする等日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	推進会議、研修、交流会などを通して認知症の方への理解や支援の方法を理解していただけるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回行っており、入居者様の現状報告、事故報告などを報告し、会議で出た意見を柔軟に取り入れサービスの質の向上に活かしている。	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、事業所の状況報告と意見交換を行っている。消防団員や老人会長等を含めた委員から詳細な地域情報を得て、災害対策等に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議に出席していただくことでホームの取り組みを理解していただき、協力関係を築く取り組みを行っている。	市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や出向いての報告・相談、生活保護担当者の来訪もあり、密に連携を取っている。市の介護相談員受け入れや研修・地域推進会議等に積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	三か月に一度勉強会を行っており、スタッフ全員が身体拘束について理解しており、常に心がけながら身体拘束しないケアを行っている。	指針があり、法人内で委員会及び勉強会を3ヶ月に1回実施している。スピーチロックに気づいた時は職員間で注意し、玄関は施錠せず外に出る利用者には職員が同行して散歩をする等、職員全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	三か月に一度勉強会を行っており、スタッフ全員がどういう事が虐待になるのか？を理解しており、情報や知識を共有することで防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	合同会議などで勉強会を行いスタッフが権利擁護について理解しており、必要に応じてその都度活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約や解約時などご本人やご家族などから意見や要望、質問などを聞き、重度化や看取りの際の対応、医療連携体制などについて十分に話し合い理解、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様やご家族から出た意見や要望は貴重だと考えており、出た意見や要望は可能な限り柔軟に受け入れ、運営に反映させている。</p>	<p>利用者の要望は日常会話で把握し、可能な限り好物の購入等に反映させている。家族から面会時やメールで出された要望で、居室面会の再開や利用料の銀行引き落とし等に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見や要望を聞く機会を作っており、そこで出た意見や要望を協議し、反映させ事業所のサービスの質の向上に努めている。</p>	<p>職員の意見・要望は会議やカンファレンスの他、個別面談や業務中でも随時聞いており、会議等で協議し反映できるように努めている。個別相談は管理者が随時受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の状態や状況に応じて勤務時間やシフトを組むなど柔軟な対応を行っており、やりがいがあるよう環境を整え、職員それぞれが向上心を持って働けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員全員が事業所内、外での研修に積極的に参加しその研修報告を毎月の合同会議で発表し、情報共有しそれぞれが育つ取り組みを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の推進会議や行事などに参加し情報収集を行い、その情報の中で良いと思ったことは日頃のケアに取り入れ、事業所のサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前にご本人やご家族と面談し、ご本人の思いや要望、意見を傾聴し不安などを把握し出来る限り要望に添い、ご本人が安心してサービスや支援を受けられるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始前より密に話し合いを行い、ご家族の思いや希望、要望、不安などを把握し、出た要望や不安を取り除けるよう努め、良好な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集や話し合いを行うことでご本人やご家族のニーズに沿った適切な支援が受けられるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼関係を大事にしスタッフと利用者様が家族のように過ごし、利用者様の想いを尊重して接し良好な関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から状態や状況をご家族へこまめに報告し、ご家族と相談しながら一緒にご本人を支えられるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの人や場所をスタッフが把握し、これまでの生活で大切にしてきたものを継続出来るよう支援を行っている。	家族との面会や外出を支援するとともに、家族に家族会や事業所行事への参加を働きかけ、ホーム便りも毎月送付している。職員が自宅付近へのドライブや馴染みの美容院への送迎を行うこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や個性を尊重し、お互いの存在が励みになるような良い関係が作れるよう環境を整え支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退居されてもそれで終わりにせず、ご本人やご家族の相談にのったり可能な限り出来る事を行い支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	それぞれの方の思いや意向を把握し、思いを伝える事が困難な方はご家族から聞き取ることで把握し、ご本人の思いに添った支援が出来るよう努めている。	個別ケア時に話しかけ、本人の要望や思いを聞くようにしている。困難な場合は、家族からの情報を参考に本人の表情や反応、職員の関りの中で汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の利用者様がこれまでどのように暮らしてきたのかをご本人やご家族から聞き取ることで把握し、個々の生活歴に沿った支援が受けられるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノートや毎日のケースカンファレンスでスタッフ全員が情報共有することで把握し、それぞれの方に応じた支援が提供できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日スタッフ間でカンファレンスを行ったり、担当者会議を開催しそこで出た意見や会議でのモニタリングを反映した介護計画書を作成している。	面会時や電話で家族の要望を聞く他、面会時に担当者会議を実施し、カンファレンス等で出された職員の意見を合わせて介護計画を作成している。モニタリングは、3ヶ月に1回、計画の見直しは1年に1回行っており、状況変化等の必要時にも現状に即した計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日個別に記録し、実施した結果や気づきをケースカンファレンスで共有し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々のご本人やご家族のニーズに対応し、既存のサービスだけにならないよう日々、柔軟な支援やサービスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>スタッフ全員が地域資源を把握しており、ご本人がそれぞれの力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しめるよう工夫して支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医はご家族やご本人の希望に応じており、主治医や連携室と密にやり取りし、それぞれに応じた適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>契約時に確認し、希望のかかりつけ医による訪問診療や受診により適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は職員が対応し家族に結果を報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員や看護職員が常に報告、相談し、入居者様それぞれがその時々に応じた適切な受診や看護が出来るよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関とは日頃から連絡を取り合い関係作りを行っており、入退院時には情報交換を行い治療が終わったら出来るだけ早期退院につながるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	サービス提供前から事前意思確認書等を用いてご本人やご家族の要望を傾聴し、出た要望はスタッフ間で共有し出来るだけ要望に添えるよう話し合いを行い支援出来るよう努めている。	契約時に、重度化の場合の対応について看取り介護及び特別養護老人ホーム等の選択肢を含めて指針で説明し、同意書ももらっている。家族の意向確認を重ね、重度化の場合には主治医から家族への病状説明と意向確認を行っている。看取り介護希望の場合、医師・訪問看護師を含めたチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故に備えてスタッフ全員が心肺蘇生法を定期的を受講し理解しており、急変時や事故発生時に対応出来る実践力を身につけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の総合防災訓練には地域の方にも参加していただき、自主訓練も定期的に行うことで急な避難にも対応出来るよう実践力を身につけている。</p>	<p>年2回夜間想定地震・火災の避難訓練を実施し、2回消防署の立ち合いと地域住民及び運営推進会議委員の参加協力がある。年4回搬送・必要時間測定の自主訓練も実施している。事業継続計画（BCP）を策定し、研修・見直しを行っている。備蓄は、3日分の水・食料の米・カップ麺・缶詰・レトルト食品及びカセットコンロ・発電機がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけの言葉には十分注意し、お一人お一人を敬い、尊重した対応を行っている。	研修を実施し、一人ひとりを尊重した言葉かけや対応に努め、さん付けで呼びかけ、入室時の声掛け、排泄・入浴介助時の羞恥心への配慮等に取り組み、申し送りは事務所で行いプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや希望を自由に表現していただき、自分らしく過ごせるような支援を行っている。また、自己決定が困難な方にはご家族からの情報を得ながらご本人の希望に添えるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日、その時のご本人の体調や希望に合わせてその方のペースを大切に支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に散髪を行い、衣類はご本人の意見をお聞きして好みやその季節に合った物を着ていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく食事を摂れるような雰囲気作りや声かけ、サポートを行い協力していただける範囲で食材の下ごしらえやお盆拭き、後片付けなどを行っていただいている。	献立は利用者の希望を入れて職員が作成し、ミキサー食等の個々に応じた食事形態で調理・提供し、利用者も一緒にお盆拭きや保存食づくりをしている。季節の行事食や誕生日のケーキにも取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した献立作りをし、毎日の水分摂取量も把握している。栄養補助食品なども取り入れ、お一人お一人に合わせて提供し、ご自分で食事を摂る事が困難な方には食事形態も考慮し介助を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の状態にあった口腔ケアを行っている。義歯洗浄剤や口腔ケアティッシュを使用し清潔保持に努めている。また、歯科医師や衛生士などから助言を貰い、ケアに活かしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行うことでオムツの使用を減らしお一人お一人の力に応じて自立に向けた支援を行っている。	日中は排泄パターンを参考に声掛け誘導を行いトイレでの排泄を基本に支援し、布パンツの維持やオムツからリハビリパンツへの改善、パット使用減等の効果がみられる。夜間のみポータブルトイレ・オムツを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で排便状態を把握し、それぞれの方に合わせた適度な運動や乳飲料を飲んでいただく事なるべく薬に頼らず自然に排便が出来るよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	主治医や看護師などと協議し入浴回数を決め、体調やタイミング、ご本人の希望を聞いた上で喜んで入っていただけるような工夫をし入浴支援を行っている。	週3回午前を基本に入浴を支援し、状況等で柔軟に対応している。全員リフト浴を利用し、入浴剤使用や希望での同性介助等で個浴を楽しんでいる。入浴を嫌がる場合は声掛けや日時を変えて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ホールにソファやマッサージ機を設置し、個々の状態に合わせて休息が取れ、天気の良い日は外気浴を行ったり、外出したりお布団を干すなどし、夜間安心して気持ち良く眠れるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用や副作用を職員が理解しており、正しくしっかりと服用出来るよう支援している。また、服用後に観察し症状の変化に気付けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様それぞれの喜ぶことや嗜好品を把握し、今までの習慣を大切に、その方がその方らしく過ごせるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の体調や状態に合わせて花見やピクニック、文化祭の見学、地域の行事に参加するなどし、屋外に出る機会を作るよう努めている。	気候の良い日は近隣の散歩や中庭で外気浴・日光浴をしている。年間計画を立てて、初詣やかかし祭り・花見・水族館・サーカス・買い物に出かけ、その日の状況でドライブに出かける等、できるだけ外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要に応じて支援を行っている。ご家族から少額を預かりご本人が使いたい時に使えるような支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎月、新聞やお便りを作成してご家族に近況をお伝えしている。ご希望の方はこちらから定期的に電話をかけてさしあげ、いつでも連絡がとれるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様が居心地よく過ごせるようにホールなど共用の空間は季節感を取り入れた展示物や飾り付けを行い環境作りに努めている。</p>	<p>ホールの空調はエアコンで行い、濡れタオルでの加湿や上の窓を常時開けて換気に取り組んでいる。季節の飾りつけがされ、ソファや自席等の好みの場所で利用者がくつろいでおり、広い廊下は歩行訓練を行ったり、休めるようソファが置かれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間にはソファやマッサージ機をいくつか設置し、それぞれの方に合った居場所を考えていつでも気持ちよく過ごせるように環境作りに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内にはご本人の趣味で作った作品やご家族の写真や手紙、贈り物などを置きその方が居心地良く過ごせるような空間作りに努めている。</p>	<p>居室には、ベッドやタンス・エアコン・寝具が備えてあり、本人は使い慣れた寝具やテレビ・タンス・仏壇・鏡台・写真等を持ち込んで、落ち着いて過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様お一人お一人の出来る事や分かる事を見極め、安全かつ自立した生活が送れるように工夫し支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない